

ものづくり最前線！！

2017年12月号

【今月のごあいさつ】

12月14日～17日の4日間、タイのバンコクで行われたがんばれ社長主催の「バンコク1day 経営講座」に参加しました。参加者はバンコクで活躍する日本人経営者10名強や、アメリカやベルギーなど、世界中からの参加でした。今回の講座を受講した目的は、来年1月におこなう弊社経営指針発表会の内容を、世界で活躍する日本人経営者に聞いていただき、ご意見を頂戴するためでした。実際の講座では、弊社の日本での取り組みを事例等交えてご報告させていただき、質疑応答に答えながら共に勉強する、とても有意義な講座でした。また、以前から面識がありましたバンコク伊勢丹で寝具販売を行っている女性経営者の売り場も、見学に行きました。今では寝具の他に、日本メーカー7社の売り場を広げられていました。弊社の取り扱い商材からも、バンコク伊勢丹で販路が開拓できる商品を今後、ご提案していくことが決まり、帰路につきました。



〈バンコク伊勢丹〉

【ものづくりトピックス】

MTF2018(三井精機)

2018年1月30日・31日に、名古屋国際会議場で、三井精機工業の展示会が開催されます。当日は、新商品の給油式インバータ・コンプレッサや、5軸制御立形マシニングセンタ、高精度ジグ研削盤J350Gの展示があります。

また、セミナーの開催もあります。

1月30日 13:00～14:00「新型コンプレッサのご紹介」

1月30日 14:30～15:30「新開発機種のご紹介」

1月31日 10:30～11:30「特別講演」

1月31日 13:00～14:00「新開発機種のご紹介」

1月30日 14:00～15:00「新型コンプレッサのご紹介」

上記がセミナーの内容となっております。

ご興味ある方は、ぜひお申込みを♪

弊社で申込み承っておりますので、ご連絡下さい。

日時 1月30日(火)10:30-16:30

1月31日(水)10:00-16:00

場所 名古屋国際展示会

第2展示会(ホートメッセなごや)



【上前津ウォーカー】

♪ BISTRO 43° N ♪

今回ご紹介するお店は“BISTRO43° N”というイタリアンのお店です。お昼にはパスタランチやおすすめコースランチなどもあります。パスタランチは前菜の盛り合わせ、本日のパスタ(4～5種類のパスタの中から選べます)、石窯パンがセットになって1000円でした。パスタにもボリュームがあってとてもおいしかったです。コースランチには上記のセットにドリンクとデザートが付いてきました。

店内はとてもかわいらしい雰囲気なので女子会にもおすすめです。

営業時間

ランチ 11:30～15:00

ディナー 18:00～23:00

住所: 名古屋市中区大須
4-13-32 名探不動産ビ B1F

TEL:052-238-0870



【会社案内】

有限会社パール金属

所在地: 名古屋市中区大須 4-15-34

電話: 052-251-0753 / FAX: 052-241-1620

事業内容: 機械工具・工作機械・工場用設備用品、

産業機器などの卸販売

分電盤・配電盤用のオリジナル鋳金部品の販売、

環境設備商品の卸販売

企業理念: 「豊かさの創造」

1. 顧客・取引先・関わるすべての人々に、豊かさと安心をもたらせる、輝く企業を目指します。
2. 共に働く人々が、誇りや、やりがいを持ち続け、心豊かになれる企業を目指します。

お問い合わせ: info@pro-kogu.com

社長ホットライン: 090-2928-3231 (お客様相談窓口: 堀口)



【今月の売れ筋商品】

ハンドウォッシュワイフ

年末年始！特売セール！！

特殊デュワルワイフ採用！！

- ① 表のザラザラ面で、油の強い汚れを落とします！
- ② 裏のソフト面で、仕上げの拭き取りを行います☆

水道要らずの汚れ落とし！

油污れもしっかり落とせます！

いつでもどこでも持ち運び可能♪



★1ケースでのご購入がお買い得です！！

4個（1ケース）

¥2,500/個

1個（バラ）

¥2,750/個

■使用イメージ■



【歴史に学ぶ生き様】

陶芸家・加藤唐九郎

80代でテレビ出演し、ろくろから茶碗を取り出す場面で失敗した。「年数をたくさん生きても努力が続かないとダメ。途中で僕は怠けてしまったからね」そう言って笑う。彼ほど陶芸界をリードしてきた人物は少ない。そんな唐九郎が80を過ぎててもまだ調子がでないという。志野茶碗「深むらさき」は83歳の時の作品。「こういうものが出来たのは初めて。今後できるかどうか分からない。今後勉強してモノにしていきたい」と唐九郎。「研究なんかしなくても思い通りになんでも作れるでしょうと言われるが、実際は失敗ばかり。結局まだ未成熟ですね」という。永仁の壺事件で唐九郎は織部焼きの人間国宝の座も剥奪された。一切の公職から離れ、陶器の研究と制作に打ち込む。批判から逃れるように没頭し焼き物に救いを求めた。11年後、個展を開いた。今度は「世にも稀な人である」と絶賛された。「芸術家は晩年の作品ほど優れていなければならない」が持論で、「焼き物をつくって己が救われるまで努力する。その結果救われなくても、それはしょうがない」と述べている。



【今月のビジネスコラム】

「環境を良くしすぎない」

（有）がんばれ社長：武沢信行氏

ユニクロの柳井正社長は、かつて野菜販売の事業で失敗したとき、こうもらしている。



「潤沢な資金があって優秀な人材がおり、モノとチャンスにも恵まれている。そんな状態で事業を始めると、失敗するか、当たったところで大した成功は望めないでしょう。当社の野菜を販売する事業も、カネがあり人材もいたから、うまくいかなかったのです。カネがない、ヒトがいない、モノがない、チャンスがないことは、事業を成功させる4大条件だと僕は思っています。」今の日本の農業は、栄養も水もたっぷり与え、農薬で害虫や雑草から野菜をガードする。過保護な環境で甘やかされた野菜は、自力で土中の栄養分を吸い上げる能力や、水を求めて根をのばすパワーを失い、しだいに味や香り、栄養素まで不足した植物に成り下がっている。私はこの話を聞いて思わず唖ってしまった。「人間も一緒だ」「会社経営だって一緒だ」と。荒地歓迎、水不足歓迎、乏しい光歓迎、肥料なし歓迎。過保護にすると自然の作物だって怠惰になる。ましてや人間は過保護にされるとどこまでも甘えてしまう。

【社員の声】

門奈美和(2012年入社)

先日、仕入れ先の担当者の方に『工作機械の勉強会～旋盤編～』を開催して頂きました。

今回の勉強会では各部の名称、加工の種類、加工の方法、旋盤の選定方法、チャックの種類など旋盤についての基礎的なことを教えて頂きました。

普段お客様の所で良く目にする機械ですが、各部分にどのような名称がついているのか、加工の内容によってどのような機械を選定するべきなのか、選定する際はどこに気を付けるべきなのか詳しく知らなかったので、大変勉強になりました。

中でもチャックに関する事で、振れ止めに使う爪の種類にローラー爪やメタル爪があり、それぞれのメリット・デメリットについて教えて頂いたのが、今後の業務で役立てていきたいと思えます。

また、複雑な形状のワークを固定するために使われる、面板という物があることを知らなかったのが、お客様の所で見つけたら加工しているところを見たいと思いました。

